

志教育の視点	<input type="checkbox"/> かかわる ・ <input type="checkbox"/> もとめる ・ <input checked="" type="checkbox"/> はたす
--------	---

活動名	キャリア探究・自分のキャリアプランを描く
教科・領域等	総合的な探究の時間
活動学年等	第3学年
ねらい	仕事への価値観や興味関心を知り、企業選択と自分のキャリアプランを描くことで、「私なら～」という視点で企業の新入社員になりきって高校生向けの企業説明会をイメージする。またその体験から進路選択は人生の選択でもある事に気づききっかけとする。

【実践内容】

1 概要

自己分析で仕事への価値観と興味関心を知り、求人票比較の方法と自分が働く上での条件について優先順位を決める。企業を選択し、その企業について情報を集めることから自分のキャリアプランを描いてみる。生徒のミッションとして「企業の新入社員になりきって、高校生向けの企業説明会を実施せよ！」というプレゼンテーションを作成し、探究企業説明会にて発表を行う。

2 実践指導

・自己分析①ツール分析の活用

自己診断ツール「ジョブタグ」を活用して自分の価値観や興味のある職業分野について理解し、客観的な情報活用の手法を身に付ける。(自己診断ツール・職業興味検査・価値観検査を利用。)

・自己分析②多様な分析を総合して自己理解を深めよう

ツール分析のほか、自己分析や他己分析などの複数の自己分析結果を総合して、自己理解を深め、それを文章でまとめる。

(自己診断結果まとめ、診断結果&自己意思を総合して自分の適職種を見定める。ゼミ教員のチェックを受ける。)

・自分の適職種に出会う

前時までの様々な自己理解を活かして自分に合った職種を選ぶ。職種の選択にあたって職種を選ぶ根拠として、自己分析の内容が結びついているかを重視する。

(自分の価値基準を考え、求人票検索ソフトハンディを活用して企業比較演習を行う。)

・企業比較演習

自分の職業選択の価値基準を明らかにするとともに、求人票に掲載されている多くの情報を整理・理解・分析・比較する演習を通して、情報活用力と自分価値基準理解に迫る。

・企業の選択と企業情報の収集

企業探究の対象となる企業を選定し、求人票やホームページ等から必要な情報を収集し、スライドにまとめる。(企業を選定と企業の基本情報を収集する。)

・キャリアプランの作成

就業後のキャリアアップや資格等の取得を想定したキャリアプランを描くとともに、私生活などのライフプランもイメージして、自分の生き方について幅広い視点から考えを深める。

(キャリアアップを調べ、自分のキャリアプランをライフプランと合わせてイメージする。)

・ゼミリハーサル・最終発表会

ゼミ担当教諭のサポート受けながらリハーサルを実施し、内容の改善後まとめとしてキャリア探究最終発表会を行う。



新入社員になったつもりで15秒CMを語る



発表会の様子

3 目標

本事例の目標は2つあり、「キャリアプラン・ライフプランを立てる」、「企業人として創りたい未来を考える」を目標とする。就職することがゴール（出口）でなく、就職こそ「人生の入り口」と捉え、進路選択することは人生の選択をすることであることを考えさせる。また、進路選択を自分ごとにするために、「創りたい未来」をイメージするために、企業理念・提供しているサービスや商品、会社が何を目指しているかを参考にして「私なら〜」という視点で自分の創りたい未来について語れるスキルを身に付ける。

4 成果

ゼミ形式1人の教員が3～4人の生徒受け持つことで、生徒と教員との対話や協働する雰囲気が醸成され、教員の指導を通して以前より話すことや相談できる自信を持つことができた様であった。また、いままであまり人前で話すことが苦手な生徒も他の生徒の発表受け答えを参考にして、より自分の考えが伝わる言葉を考え話す姿も見られた。全体的に成果が大きかったと言える。

5 課題

本校のような少人数の学校場合、生徒個人での探究においてより効果的なものにするには生徒の自主性だけに任せる（放任）にならないようにゼミ形式にすることが不可欠である。しかし、ゼミ担当教諭の温度差や熱量については差があるため、生徒の自主性を引き出しながらも、教員間の事前指導の工夫・改善をしたい。